

Shirayuri

仙台白百合女子大学後援会報

No.4
2015.3

仙台白百合女子大学後援会



Contents

- | | | | |
|-----|----------------|---|---|
| 2 | 学長挨拶
後援会長挨拶 | 6 | 2015(平成27)年度 行事予定
理事名簿
理事募集中
事務局より
編集後記 |
| 3 | 部会活動報告 | | |
| 4・5 | 事業活動報告 | | |



学長挨拶

仙台白百合女子大学 学長 牛渡 淳



後援会の皆様。お変わりございませんか。常日頃から、本学の活動に対しまして多大なご協力を頂き、ありがとうございます。今年度も、学費や国からの補助金のみでは対応できない側面、学生のスポーツや課外活動、資格取得への支援、その他、教育活動の強化・支援のために援助して頂き、感謝に堪えません。

さて、ご承知のように、大学に対する社会の期待は年々高くなり、近年は、グローバル化や地方創生においても、大学の対応を求める声が高まっています。また、大学は社会に出るための単なる猶予期間ではなく、名実ともに「真に勉強する場所」に変わりつつあります。基礎学力、各学科の高度の専門性、広い教養、コミュニケーション力、語学力等、現代の学生に求められる能力とそのための教育改革が求められています。そして、学生の学びのための様々な具体的な支援策も大学に

求められています。

本学におきましても、このような現代の大学改革の一翼を担うべく、様々な改革を行い、また、そのための準備を行っています。今年度から学習支援センターが発足し、学生の様々な学びを支援する活動をスタートさせており、来年度は、さらにこれを拡充していく予定です。さらに、本学の新しいディプロマ・ポリシーとカリキュラムポリシーを作成中です。「ディプロマ」とは、「卒業証書」のことですから、ディプロマ・ポリシーとは、「教育の実施や卒業認定・学位授与に関する基本的な方針」という意味です。ここでは、本学の学生が卒業するにあたって、どのような能力を身に付けるべきかを、建学の理念と社会のニーズ、及び、各学科の専門性に基づいて詳しく明記しています。これによって、本学の教育の特色をより明確にするとともに、卒業を厳格にしていくことにより、教育の質保

証を強化するものです。その他、単位の過剰登録を防ぎ、一つ一つの授業の中身を濃くするための「キャップ制」をすでに導入していますし、学生の成績履修方法としてのGPA制度の導入なども予定しています。これらは、いずれも、大学教育の質保証のための新しいシステムです。

その他、入試戦略ポリシーの検討、私学補助金獲得のためのタスクフォースの設置、IR推進のための委員会設置に向けた準備、グローバルプロジェクト、教育研究環境整備委員会設置の準備等、教職員一丸となって、大学の組織的改革に取り組んでいるところで

す。今後とも、引き続き、本学の改革にご支援いただきますようお願い申し上げます。

後援会会長挨拶

仙台白百合女子大学後援会 会長 千葉 隆政



仙台白百合女子大学後援会会員の皆様におかれましては、日頃より後援会活動へのご理解とご協力をいただきまして、ありがとうございます。

第二代の会長を拝命し二年目となった2014年度も、会の目的である「在学生保護者・大学教職員との連携を密に一致協力した活動を通じて、学生生活の向上、更には大学発展への寄与・会員相互親睦を図ること」に向け、滞りなく事業を進めることができました。

今年度は、後援会の基本的活動をいっそう充実させるべく、創設時からの4つの部会を、次の3つの部会に改め、事業を展開して来ま

- ①大学連携部会：大学の奨学金、キャリア支援、学生の課外活動の充実などを支援。
- ②事業部会：卒業記念品贈呈や「白百合祭」参加など後援会独自事業を実施。
- ③広報部会：広報誌発刊、ホームページ制作、保護者向け講演会の開催・共催等。こうした中で、次のような新たな取組を行いました。
- ①事業実施の充実に向け、「大学連携部会」では、大学から事業内容のヒアリングの

機会を設けるとともに、「事業部会」予算を枠予算として確保しました。

②6月の後援会「総会」により多くの保護者の方にご参加いただくことが出来るように、午前、本学名誉教授の岩田靖夫先生より「よく生きる」と題して講演をいただくとともに、「ステラマリス」で昼食を提供しました。

③「白百合祭」などの学生・大学活動の充実のために、新たなテントを6張購入しました。

このように、2014年度においても、後援会活動を充実させることができました。これもひとえに、一緒に活動に取り組んでいた各保護者理事と大学関係者のご協力の賜物であります。

昨年12月に開催された理事会でご推薦をいただき、2015年度も「後援会会長」の重責を担わせていただくことになりました。引き続き、「学生生活の一層の充実」、「できるだけ就職の夢を叶える」、「故郷となる大学の永続つながる魅力度向上」をテーマとして、会員の皆様からお預かりした会費を最大限有効に生かしていくように心がけ、会の運営に

努めて参ります。

特に、少額ではありますが、後援会の「事業部会」の事業費を枠予算として確保したことにより、年度途中に生じたニーズへの対応など柔軟な事業展開が可能となっています。また、この有効な使途を常に意識することで、後援会活動をこれまで以上に活発なものとすることも可能と考えております。

このようなことも踏まえ、「事業提案」などの形で、保護者の皆様の後援会活動参加の機会を増やして行きたいと考えております。保護者の皆様には、理事としての参画はもちろんのこと、困難な場合においても、会の活動への積極的なご参加をお願いしたいと思います。

今後、会員の皆様方には、このような後援会活動への、ますますのご理解と、ご支援、ご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、皆様のご健勝とご多幸を祈念し、ご挨拶とさせていただきます。

部会活動報告

第4回後援会総会 報告

第4回後援会総会が2014年6月21日（土）11時より、仙台白百合女子大学講堂において開催されました。総会後に本学名誉教授の岩田靖夫先生による講演会と学食体験が企画されており、多くの会員の皆様にご出席いただきました。

総会は、プログラム次第に基づき学長挨拶、会長挨拶、議事の順に行われました。議事は、①第1号議案 2013年度事業報告、②第2号議案 2013年度決算報告および監査報告、③第3号議案 2014年事業計画（案）、④第4号議案 2014年度予算（案）、⑤第5号議案 理事の選出について審議されました。すべての議事が可決されましたのでご報告いたします。

ご多用のところご出席いただきました会員の皆様、理事の皆様には心より御礼申し上げますとともに、更なるご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。（大学連携部会 高橋 千恵子）



事業部会活動報告

「講演会開催」に際して今年度は、仙台白百合女子大学名誉教授岩田靖夫先生へ、特にお申しましてご多忙の中、講師をお引き受けいただきました。

『よく生きる』をテーマに、人間の存在の源や人の幸せの真実を、分かりやすく講演され、出席者は哲学学会の第一人者の熱い思い拝聴することが出来ました。

開催日：2014年6月21日（土）11：30～12：30

講師：岩田靖夫 氏

演題：よく生きる

出席人数：135名

講演終了後、初めての試みとしまして、学生食堂・ステラマリスで、温かいランチを用意しました。後援会の方々全員に学生気分を感じていただきました。味も栄養バランスも好評でした。

（事業部会 鈴木 俊一）



岩田靖夫先生におかれましては、去る1月28日逝去されました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

大学連携部会活動報告

大学連携部会は、学生への支援事業として「奨学支援」「課外活動支援」「キャリア支援」を行っています。

奨学支援では、後援会より300万円の支出をし、これを大学奨学金と一体運用することにより、経済的理由のため学業継続が困難と認められる学生12名への支援、及び東日本大震災授業料減免支援を40名に行いました。支援対象の学生は、応募者の中から大学内関係者で学業成績、学習態度を審査し、決定の運びとなりました。

勉学奨励としては、人間発達科学科の学生に対して小学校課程教職対策のためのテキストの購入の援助をしました。保育・幼児教育のワークショップなどのプログラムに対しても順次支援しています。心理福祉学科の学生には、社会福祉士及び精神保健福祉士の国家試験対策として、模擬試験上位者への補助をしました。積極的に外部模試を受験する学生が少ないようなので、これによって自学自習及び模擬試験の受験の必要性を周知させ勉学意欲を高めたいという大学側のねらいが学生に浸透することを願います。健康栄養学科においては、4年生対象の管理栄養士国家試験対策講座に補助をしています。グローバルスタディーズ学科の学生に対しても、各種資格・検定の受験補助をしました。

課外活動支援では、クラブ・サークル活動の活性化の一助として、バスケットボール部にボールを購入しました。また白百合祭(10/25・26)に向けて展示用キャスター付パネルとテントを購入し活用してもらいました。これにより、学生の安全な作業・活動を支援することができました。

キャリア支援においては、全学年を対象とするパソコン資格取得講座や公務員試験対策講座、各種模擬試験、また3年生保護者を対象とした就職に関する保護者懇談会を援助しています。パソコン講座や公務員試験対策講座等への参加者減少が課題となっているようですが、後援会としても大学が理想とする教育活動をできるだけ支援し、魅力的な白百合女子大学で学生がより有意義な学生生活を送るように今後も活動を続けて参ります。

（大学連携部会 伊藤 啓子）

広報部会活動報告

広報部会は、後援会会報「Shirayuri」の発刊、ホームページの更新、保護者向け講演会の開催、共催を軸に活動しております。部会再編1年目の2014年度は、大学と後援会（大学連携部会・事業部会）との連携で、後援会第4回総会時に、岩田靖夫先生（本学名誉教授・東北大学名誉教授）による講演会（演題「よく生きる」）と、学食でのランチ試食会を行いました。これは、少しでも多くの保護者の方に、子供達の学び舎を見ていただくとともに、総会に参加していただき、皆様からお預かりしている後援会費の使途についてご承認いただくこと、後援会の活動をご理解いただくことを目的に行い、例年の1.5倍強の保護者の出席を頂きました。総会の様子は、ホームページでもご覧いただけますのでご利用ください。2015年第5回総会も、多くの保護者の方に来校頂けるよう計画いたしますので、多数のご出席宜しくお願いいたします。

2015年度広報部会では、大学・後援会各部会と連携し、多くの保護者の皆様にご理解と、来ていただくことをスローガンに、後援会会報の発刊・ホームページの更新等情報の発信、講演会の開催・共催を行い、広報体制の充実に力を入れますので、ご支援、ご協力宜しくお願いいたします。（広報部会 草野 克哉）

事業活動報告

白百合祭に参加して

昨年に続き今年度も白百合祭に参加させていただきました。
模擬店と物品販売を行い、日ごろ、目にすることのない学生や先生方の貴重な一面を見ることができ参加しなければ分からない得した気分を味わうことができ感謝いたしております。

模擬店のメニューは「白百合チャーハン」と決め一味違う美味しさを提供したいと思い、本格的に鉄板の上であおりながら香ばしいネギ油で食欲をそそりたいと学生の保護者である後援会有志メンバーで望み両日とも《完売》というありがたい結果をいただきました。

物品販売では、昨年同様「被災地関連グッズ・海産物」の販売を行いました。嬉しいことに「去年、これおいしかったの。」「あっ！またあるのね。」などリピーターの出現に参加してよかったと思いました。

また、有志メンバーも販売の合間にもちまきや学生の模擬店・発表などを見たり参加したりすることができ若かりし頃タイムスリップしたかのように楽しいひと時を過ごすことができました。学生たちの温かい心遣いもありプレゼントを抱えて笑顔いっぱいでの戦績を話す姿は学生顔負けのようでした。

後援会が白百合祭に参加させていただくことで、理事同志の親睦が深まり、学生・大学との連携もでき少しでもお役に立てれば幸いと思います。

ご協力いただいた学生・先生方・大学へ感謝いたします。
(事業部会 松浦 栄子)

学生たちの新しい「足」

2014年3月、仙台白百合後援会より素晴らしい贈り物が届けられました。トヨタ社製ハイエースです。この大型バンの純白のボディには Lis Blanc の文字と白百合マークがペイントされ、学生たちの新しい「足」として活躍する日々が始まりました。

これまで学生たちが学外活動に行く際は、公共乗り物を使うか、1台しかない大きなスクールバスをやりくりするなど不便なことも多かったのですが、この10人乗りのバンは普通免許で運転できる為、教員や職員が引率するにも大変重宝です。早速ボランティアや実習、大学行事などことあるたびに活用させていただいております。

私は仙台白百合学園幼稚園での英語授業見学・実習に参加する学生を引率するため、昨年6月、7月、11月と利用させていただきました。広々とした車内に学生たちは喜び、新車独特の匂いを楽しみました。学生たちが一緒に移動できる利点は物理的に便利というだけでなく、往復路に車内で打ち合わせや確認、反省会などができることです。同じ空間にいて学生たちは一体感を持ち、モチベーションが高まったように感じられました。真新しい車体は交差点などで目立つようで、行き交う人々の視線を受けて、学生たちは誇らしく思ったことでしょう。

このような素晴らしい贈り物をいただき、僥倖ながら学生・教職員一同を代表して御礼申し上げます。感謝の気持ちを持って、今後とも末長く大切に使用させていただきます。

(人間発達学科 准教授 遊佐 重樹)



第49回白百合祭の御礼



去る10月25日、26日に第49回白百合祭が開催され、2日間を合わせ約1300名のお客さまにご来場いただきました。

今年度は中庭に設置するテントと展示用パネルを後援会の皆さまよりご寄贈いただき、誠にありがとうございました。皆さま方からいただきました

テントは主に、出店の店舗として活用いたしました。当日は天候にも恵まれ雨の心配はありませんでしたが、日差しが強かったため多くの学生からテントがあつて大変役立つとの声が寄せられました。また、テントを使用させていただいたほとんどの出店では食品を扱っておりました。お越しいただいたお客様に安全で安心な商品を提供することができましたのも、ひとえに皆さまからの温かいお心遣いのおかげと感謝申し上げます。また、ご支援いただきましたパネルは有志団体の発表や学内に設置する看板として使用いたしました。昨年度までパネルの枚数が不足しており学生が希望枚数を利用することができず、思うように発表ができない状態が続いておりました。今回はパネルの数が充足し、例年にも増して充実した発表や展示を行うことができました。

今年度よりテントの設営を学生自らが行えるようになり、お力添えを賜りました先生方、ご指導いただきました皆さまにこの場をお借りいたしまして厚く御礼申し上げます。実行委員や学生の力だけではなかなか設営がうまくいかず苦戦していた場面もありましたが、皆さま方からのご助力をいただき例年よりも設置作業や撤収作業を効率よく行うことができました。

至らない点が多く、様々な場面でご迷惑をおかけしてばかりの委員長ではございましたが白百合祭実行委員会を代表いたしまして、第49回白百合祭のためにご尽力いただきました皆さまに厚く御礼申し上げます。白百合祭を支えてくださる皆さまのご期待に沿うべく、精一杯努力してまいりますので、今後とも変わらぬご指導とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

(第49回白百合祭実行委員長 今野 智都)



仲間とともに教師になる

暖かく優しい日差しが注ぎ、草木の芽ぐむ季節となりました。私たち人間発達学科初等教育コースでは、小学校教諭一種免許を取得することを目標に日々励んでいます。

この度、後援会の皆様にご支援ご協力をいただき、心より御礼申し上げます。賜りましたご厚志は2年後の教員採用試験に向けて必要となる知識の習得や学力の定着につなげ、有効に活用させていただくとともに自分の理想とする教師になることで還元していきたいと考えています。

初等教育コースは現在2年生10人と、他大学と比べるととても少人数です。人数が少ない分細やかな指導を受けることができ、一人ひとりの今後改善すべき課題も明確にわかります。私たちは1年生のときの基本的な子どもと教育・保育についての学びを活かし、2年生では各教科の教育法を学び、具体的に授業をどう展開し、どのような発問をしていくのかということ意識しながら学んできました。また、実践力のある教員になるためにも模擬授業を何度も行っています。教師役と児童役に分かれ、実際に授業をすることで学べる機会が多くあります。模擬授業の良さや改善点をお互い指摘しあい、共有していくなかで学び取っていきませんが、机上で学んでいるだけでは気づくことのできないこともあり改めて大学の学びの環境の素晴らしさを実感しています。

同じ夢を目指す仲間とともに学び、歩んでいくことができることも心強く、とても大きな存在です。前までは教師になるということに不安を感じ、自分との孤独な戦いを長く続けることは困難だと思っておりましたが、学びの共同体がある今は仲間が頑張っている姿に刺激され、切磋琢磨しながらみんなで一緒に頑張っていくと考えようになりました。今後自分の描く教師像に向かって励んでいきたいと思えます。

皆様の益々のご多幸とご健勝を心よりお祈り申し上げます。
(人間発達学科 清野 ひかり)

学生から社会人へ

少しずつ寒さも和らいできた今日この頃、もうすぐ私たち健康栄養学科の者にとって大学生活の集大成ともなる試験が迫っています。寒さが身に染み渡る去年の3月、少しの希望と溢れんばかりの不安を抱えて、管理栄養士国家試験の会場に向かった時の気持ちを今でも覚えています。

私は現在、仙台市中田保育所で栄養士を務めさせていただいております。日々の給食調理、献立作成や発注の業務はもちろんのこと、子供たちへの食育や保護者の方との話し合いなど、栄養士が担う業務は多岐に渡ります。栄養士として、また社会人として初めて関わるこれらの仕事に抱く不安は、国家試験が日に日に迫り来る頃感じたものとはまた違うものでした。業務に携わり始めてからもうすぐ一年が経とうとしていますが、仕事をこなしているうちに目まぐるしく日々が過ぎていくような現状です。しかしながら、未だ慣れない私を温かく支えてくださっている保育士や給食室の先生方、そして何より給食を「美味しい!」といっぱい食べてくれる子供達に囲まれ、日々楽しく業務に携わらせていただいております。給食を頼る子供達を見た時、子供達に「お給食の先生!」と話しかけてもらえた時、日常の些細な出来事が栄養士になりたいという気持ちを思い起こすきっかけとなっています。

今にして思えば、まだ20にもなっていない頃、栄養士というずっと続けていきたいと思える職業を選択できたことはとても幸運だったと思います。大学生時代にも成績や将来に悩む機会は多々ありましたが、ですが先生方や後援会の皆様にご支援いただき、管理栄養士の国家試験に合格することで、自分はこの仕事が好きだと胸を張って言える職業に就くことができています。学生時代に応援して下さった皆様へ、少しでも御礼返しとなるような仕事にこれからも努めて参ります。

文末となってしまいましたが改めて、国家試験対策として模試や集中セミナーの助成等多大なご協力をいただきましたこと、心より感謝申し上げます。
(健康栄養学科 卒業生 八島 真愛)



補助事業の感謝・御礼

仙台白百合女子大学後援会より、模試の受験料一部補助や、模擬試験の成績優秀者に対して教材の進呈をしていただいた事、とても感謝しております。

模試の受験料を一部補助していただいた事で、経済面への負担が減り、9月から毎月1回程度ある模試を毎回受験する事ができ、自分自身の得意・不得意な分野を把握する事ができたり、全国での位置を確認する事ができました。これにより漠然とした目標を持って勉強に取り組むのではなく、「あと何点足りないからもっとこの部分を勉強しよう」といった具体的な目標を立て、メリハリをつけながら国家試験の勉強に取り組めました。

また、模擬試験の成績優秀者に対して教材の進呈をしていただいた事で、「もっと勉強を頑張ろう!」と、モチベーションを高めながら勉強に励む事ができました。

このようなご支援をしていただいた事で、勉強する環境が整い、学生は経済面を心配せずに国家試験の勉強に励む事ができたと思っております。

私自身は、国家試験の勉強の仕方がわからず、過去問題をただ暗記するという状態でしたが、教材を進呈していただいた事で、歴史や制度、仕組みといった全体像を把握する事と、科目と科目のつながりを意識しながら勉強ができました。

ただ暗記するのではなく、理解し、自分自身で活用できる勉強へと変換する事ができたと感じております。ご支援をしていただき、本当に感謝しております。

どうか今後も将来の社会福祉士・精神保健福祉士といった形で社会に貢献していく可能性のある学生に、ご支援の方よろしくお願いたします。
(総合福祉学科 中屋敷 菜水)

後援会への感謝

後援会からのご支援に深く感謝申し上げます。多岐にわたるサポートの中でも、私が特に感謝しておりますのは語学検定の補助と奨学金を通してのサポートです。

私はグローバル・スタディーズ学科に所属しているため、英検、中国語検定、日本語検定など語学系の検定にチャレンジしてきました。検定はレベルが明確なため、自分の目指すべき位置が分かり勉強しやすいので、自分の語学力を伸ばすために積極的に受験しようと考えてきました。入学時から、英検は準一級以上を、中国語検定と日本語検定は二級以上を卒業時まで取得するという目標を持って学習しています。どの検定も私にとってレベルは非常に高く、一度の受験で合格するという事は難しく、何度も挫折しそうになりました。また検定試験はレベルが高くなればなるほど受験料も高くなり、経済的に大変な時期もありました。しかし、後援会が検定試験の受験料を一部負担して下さることで、レベルの高い検定でももう一度やってみようと思えることができ、精神的にも金銭的にも助けていただき、自分の目標に向けて勉学を継続させることができました。

奨学金のサポートによって、後期の授業の半分近くを補助していただきました。この奨学金による金銭的な負担軽減はもちろんのこと、何よりも自分が今までしてきたことが認められたということが大きな自信となり、これまで以上に勉強を頑張ろうと強く思うことができてきました。またそれによって海外への渡航費用を工面することが可能となり、大学に入ってからずっと願っていた中国での学びに参加することができました。この中国における体験は私の進路に対する思いを確たるものにしてくれ、今後の大学生活に向けての大きな一歩を踏み出すことができました。

後援会の皆様からは多大な支援をしていただき、大変感謝しております。私たち学生の夢や目標の実現のために力を貸して下さったことに、今後、少しでも応えていけるように成長できればと思っています。
(グローバル・スタディーズ学科 荒井 沙羅)

2015(平成27)年度 行事予定

前 期	
4月 2日 (木)	入学式 (イズミティ21)
4月 4日 (土)	白百合ウェルカム・フェスティバル
4月 8日 (水)	前期授業開始
6月 20日 (土)	後援会総会・1、2年生保護者会
7月 28日 (火)	前期授業終了
9月 5日 (土)	AO入試Ⅰ期
後 期	
9月 24日 (木)	後期授業開始
10月 17日 (土)	AO入試Ⅱ期
10月24・25日 (土・日)	白百合祭
11月 7日 (土)	姉妹校・指定校推薦入試
11月 14日 (土)	公募推薦入試
11月 21日 (土)	就職に関する保護者懇談会 (3年生保護者)
12月 12日 (土)	AO入試Ⅲ期・姉妹校AO入試・姉妹校推薦入試
12月 17日 (木)	クリスマスミサ・コンサート
1月 16・17日 (土・日)	センター入試
1月 25日 (月)	後期授業終了
2月 5日 (金)	一般入試A日程
3月 3日 (木)	一般入試B日程
3月 18日 (金)	学位記授与式

仙台白百合女子大学後援会 理事名簿

	氏 名	担当部会
会 長	千葉 隆 政	大学連携部会長
副会長	松 浦 栄 子	事業部 会長
副会長	草 野 克 哉	広報部 会長
監 事	新 井 恭 子	事業部 会
監 事	庄 子 裕 子	大学連携部 会
理 事	黒 須 淳 子	大学連携部 副部長
理 事	飯 田 秀 美	大学連携部 会
理 事	伊 藤 啓 子	大学連携部 会
理 事	井 龍 ひろみ	事業部 会 副部長
理 事	齊 藤 晃	事業部 会
理 事	佐 藤 英 子	事業部 会
理 事	鈴 木 俊 一	事業部 会
理 事	清 水 恵 子	広報部 会 副部長
理 事	後 藤 浩 幸	広報部 会
理 事	三 浦 光 子	広報部 会
理 事	門 間 由 美	広報部 会
理 事	渡 邊 博 子	同 窓 会 長

	氏 名	担当部会
顧 問	牛 渡 淳	学 長
副会長	矢 口 洋 生	副学長 グローバル・スタディーズ学部長
理 事	白 川 充	大学連携部 会 / 学部長
理 事	横 尾 元 意	事業部 会 / 学生部長
理 事	浅 野 浩 子	広報部 会 / 事務局長
理 事	石 岡 宏 美	大学連携部 会 / キャリア支援課
理 事	泉 田 礼 子	広報部 会 / 学生課長
理 事	佐 藤 啓 朗	事業部 会 / 管理課長
理 事	高 橋 千 恵 子	大学連携部 会 / 庶務課長
事務局	大 橋 奈 那	非 常 勤 職 員



仙台白百合女子大学 後援会ホームページ

活動内容が紹介されています。是非、ご覧ください。

検索 仙台白百合女子大学 後援会

後援会理事募集中！

後援会の理事を募集しております。
 後援会は、保護者と大学および大学教職員との連携を密にし、学生生活の向上を図り、大学の発展に寄与する目的で設立され、理事は各種事業を実施するとともに（詳細はP3～P5をご覧ください）、2ヶ月に1回理事会があります。
 一緒に活動していただける方は、後援会事務局までご連絡をお願いいたします。

後援会より卒業生へ 記念品贈呈

今年度も卒業生の皆様にお祝いの品といたしまして、実印の入る「印鑑ケース」をプレゼントしております。



編集後記

今年度も、会報が作成される時期になりました。完成する頃は、卒業式がもうすぐ・・・という時期だと思います。1年間の時の流れの速さを強く感じています。毎年たくさんの方が巣立っていかれる仙台白百合女子大学の卒業生の皆さまの、これからのご活躍をお祈りしています。

私も、後援会のお仕事に参加させていただいて、今年で丸4年になりました。理事会で多くの理事の皆さまや大学の先生方にお会いし、お話を聞かせていただくたびに、これまで知らなかったことなどを教えていただき、本当によい機会に恵まれたと感謝しています。

白百合祭での食欲そそるチャーハン作りも、楽しい思い出の1つになりました。とは言うものの、2015年度も理事のお仕事をさせていただきます。たくさんの方の皆さまとの素敵な出会いがある後援会です。 (広報部会 清水 恵子)

制作者：三木節子 (女子パウロ会シスター)
 設置場所：図書館棟4F階段前
 「聖母子」(1980)
 この「聖母マリアと幼きイエスの手のなかで」の幼子の手にある白百合は、昇華した聖女ジャンヌ・ダルクのシンボルです。ステンドグラスをご覧になる皆様に、この幼児の手の中の白百合のように「神の手の中にあるしあわせ」を見出していただきたい、という制作者の願いが込められた作品です。

仙台白百合女子大学後援会

〒981-3107 仙台市泉区本田町6番1号
 TEL：022-372-3254
 FAX：022-375-4343
 E-mail：kouenkai@sendai-shirayuri.ac.jp



この印刷物は、地産地消・輸送マイルージに配慮したライスインクを使用し印刷しています。